



2022年1月27日

各位

会社名 日本ガス株式会社
 (登記上の商号 日本瓦斯株式会社)
 代表者名 代表取締役社長執行役員 和田 眞治
 コード番号 8174 (東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員 コーポレート本部副本部長
 経営企画/IR部・経財部管掌
 清田 慎一 (TEL. 03-5308-2116)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年7月29日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想について修正を行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	150,000	14,500	14,500	10,500	91.27
今回修正予想 (B)	160,000	13,000	13,000	10,000	86.47
増減額 (B-A)	10,000	▲1,500	▲1,500	▲500	
増減率 (%)	6.7	▲10.3	▲10.3	▲4.8	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	143,490	13,627	14,062	9,373	78.94

2. 業績予想修正の理由

売上高は、LP ガス及び都市ガスの原料価格の上昇に伴い販売価格が上昇しておりますことから、前回予想を上回る見込みです。一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、1) 都市ガスの原料価格高騰に伴う「スライドタイムラグ」の影響、および、2) 世界的な電子部品等の供給不足を原因とするガス機器の品不足による機器売上の減少を主な要因として、前回予想を下回る見込みとなりましたので、修正することといたしました。

「スライドタイムラグ」とは、都市ガスの原料費調整制度によるもので、原料価格の変動が、先に売上原価に後に売価(料金)に反映されることから、発生するタイムラグのことです。利益への影響としては、原料価格の上昇局面ではマイナスに、下降局面ではプラスに働きます。当期間は原料価格が急騰する上昇局面であったことから、スライドタイムラグで大きくマイナスの影響を受けました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上